

環境まちづくり実施報告書

様式3

		令和 6 年 7 月 24 日 (2024 年)			
吹 田 市 長 あて		住所	大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21階		
		※注1 事業所	独立行政法人都市再生機構西日本支社 理事・支社長 高原 功 電話 (06) 4799 - 1000		
事業の名称		千里竹見台団地一部建替事業(南区域)			
対象事業区域		吹田市 竹見台1丁目1番の一部、3丁目1番の一部			
※注1 設計・代理者		住所	大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21階		
		氏名	独立行政法人都市再生機構西日本支社 理事・支社長 高原 功		
		電話	() - (担当者:)		
※注1 工事施工者		先住区	住所 大阪府大阪市北区大淀南1丁目4番15号 氏名 青木あすなろ建設株式会社 大阪建築本店 常務執行役員本店長 衛藤 崇史 電話 (06) 6440 - 1812		
		後住区	住所 大阪府大阪市浪速区湊町1丁目2-3 マルイト難波ビル 氏名 株式会社浅沼組 大阪本店 代表取締役社長 浅沼 誠 電話 (06) 6585 - 5500		
事業予定期間		平成 29 年 (2017 年) 4 月 末 日 から 令和 6 年 (2024 年) 8 月 末 日 まで			
事業の規模		計画部分	既存部分	合計	
		対象事業面積	18,617.29 m ²	m ²	18,617.29 m ²
		建築面積	3,113.35 m ²	m ²	3,113.35 m ²
		延べ面積	25,214.75 m ²	m ²	25,214.75 m ²
		最高の高さ	42.09 m	m	
		構造・階数	鉄筋コンクリート 造・一部	—	造
		地上	14 階・地下	— 階	
事業の目的・内容		区分	☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 改築 ☐ 新設 ☐ 増設		
		☐ 土地区画整理事業 ☐ 市街化再開発事業 ☐ 宅地造成 ☐ 開発行為事業(目的:) ☐ 建築物の新築又は増改築の事業 (☐ 工場・事業場 ☒ 住宅・共同住宅(433 戸) ☐ 商業施設 ☐ 事務所 ☐ 公共的建築物 ☐ その他(:))			
		☐ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業			
		☐ その他()			
		受 付			
環境まちづくりの内容		ガイドライン取組事項チェックリストによる			
添付書類		・ガイドライン取組事項チェックリスト ・工事関連車両通行ルート図 ・その他必要と認める図書			
		第 号			

注1 法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針

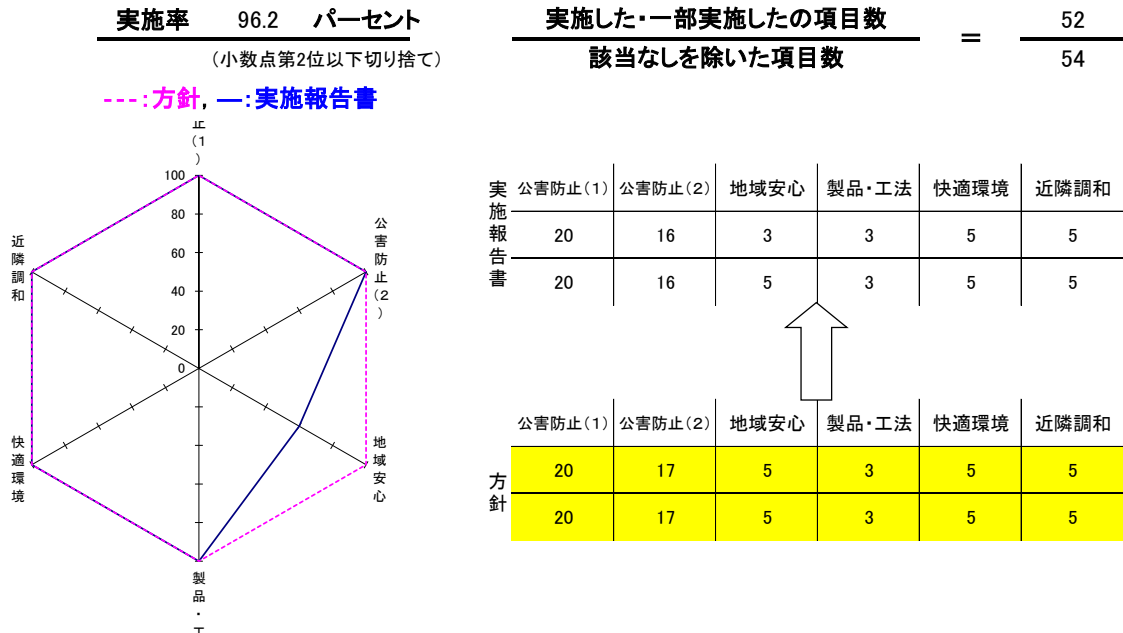
人にやさしい住まいづくり、地球にやさしいまちづくり
UR都市機構は、まちや住まいづくりを進めていくにあたり、環境について配慮すべき視点を取りまとめ、「環境配慮方針」として宣言しました。
「環境配慮方針」は、UR都市機構がめざすまちや住まいが環境にやさしいものであること、まちや住まいづくりの過程においても環境への負荷を少なくすること、さらに、このような目標は、私たちの取り組みだけで達成されるものではなく、私たちの提供する環境をご利用になる皆様と一緒に進めていくことを表現したものです。
UR都市機構は、この方針に従って、環境に配慮した取り組みを様々な業務フィールドで進めていきます。

当該事業における環境まちづくり方針

1. 環境にやさしいまちや住まいをつくります
①都市の自然環境の保全・再生に努めます
②まちや住まいの省エネルギー化を進めます
③資源の有効利用と廃棄物の削減に努めます
④まちや住まいの安全・安心と快適性を確保します
⑤環境に配慮したライフスタイルを考えます
2. 環境に配慮して事業を進めます
①環境負荷の少ない事業執行に努めます
②環境に関してコミュニケーションを深めます

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中



主な実施内容

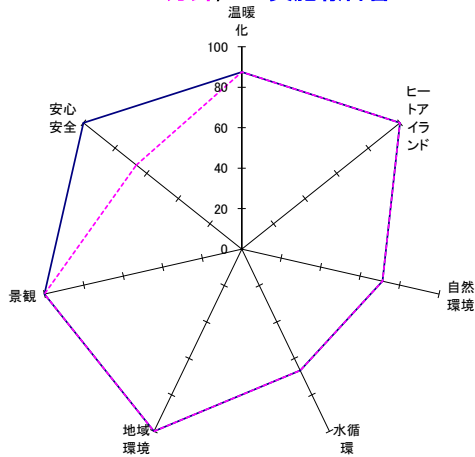
- 空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
- 工事関係車両であることを車両に表示しました。
- 道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
- 現地では廃棄物等の焼却は行いませんでした。
- 児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
- 仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所を工夫しました。
- 建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率	89.1	パーセント	実施した・一部実施したの項目数	=	33
(小数点第2位以下切り捨て)			該当なしを除いた項目数		37

---:方針, —:実施報告書



実施報告書	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	7	1	5	2	9	6	3
	8	1	7	3	9	6	3

方針	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	7	1	5	2	11	6	2
	8	1	7	3	11	6	3

主な実施内容

(1) 省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入

CO2削減量

139.9

t-CO2/年

導入内容

※(CO2換算が可能な設備に関して記載ください。)

・手元止水付シャワー水洗(1台/戸)を採用。433台

・潜熱回収型ガス給湯器を採用(熱効率94%以上):433台

・エネルギーリモコン(住戸内の給湯リモコンに使用量及びCO2排出量が表示されるリモコン)を採用:433台

・LED照明(住戸専用部:5台/戸、共用部・廊下:1台/戸)を採用:2,165台

・共用部の夜間照明はタイマー等による点灯制御及び回路分け点灯制御を採用

(2) 緑地面積

緑化率

26.9

%

条例基準分

25.0

%以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

・緑化率に換算しない緑地として、敷地内に芝(4,339.64㎡)を設けました。

(3) 雨水利用

雨水貯留量

0.8

t

うち雨水利用量

t

利用目的

☐ 植栽水やり☐ トイレの流し水☐ 洗車☐ その他

(4) 上記以外の主な実施内容

・耐久・耐火・耐震性に優れた鉄筋コンクリート造を採用し、建築物の長寿命化を図りました。

・電気室やポンプ室など騒音を発生させる設備設置においては、設置場所の配慮や壁の遮音性を確保するなど騒音・振動対策に努めました。

・塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容		修正後のチェック内容
31	実施する	⇒	該当なし
41	実施する	⇒	実施しない
42	実施する	⇒	実施しない
63	実施する	⇒	一部実施した
64	実施する	⇒	一部実施した
88	実施する	⇒	該当なし
89	実施する	⇒	該当なし
97	実施しない	⇒	一部実施した
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚染や騒音などの公害の防止します。		
建設機械		
1 低公害型建設機械の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音・低振動型建設機械を使用しました。
2 低燃費型建設機械の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	一時的な使用の建設機械を除き、低燃費型建設機械の使用に努めました。
3 アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
4 環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
5 稼働台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6 工事の平準化	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。
7 機械類の整備点検	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	機械類は適切に整備点検を行いました。
工事関連車両		
8 低公害車の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しました。
9 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府条例の流入車規制は廃止されましたが、工事関連車両については、この条例に準ずる形で全ての車両で確実に遵守しました。
10 工事関連車両の表示	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関係車両であることを車両に表示しました。
11 周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定しました。
12 建設資材の搬出入における車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制しました。
13 工事関連車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました。
14 土砂の積み降ろし時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ダンプトラックによる土砂の積み下ろしの際には、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しました。
15 タイヤ洗浄	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行った際には、騒音、水質汚濁に配慮しました。
17	場外待機の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関係車両を、場外に待機させませんでした。
18	クラクションの使用抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
20	環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制し、環境に配慮した運転を行いました。
工事方法 騒音・振動等			
21	防音シートなどの設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	遮音性の高い仮囲いや防音シート・防音パネルを設置しました。
22	丁寧な作業	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行いました。
粉じん・アスベスト			
25	解体、掘削作業の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	解体、掘削作業などの際には、散水を十分に行いました。
26	飛散防止対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	土砂などの堆積場で、砂じんが飛散するおそれがあった場合は、飛散防止対策をしました。
27	アスベストの調査など	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建物などの解体時にアスベストの使用の有無を調査しました。調査結果を近隣住民の見やすい位置に掲出し、市長にも報告しました。
28	アスベストの飛散防止措置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	先工区については、アスベスト含有建築材を使用した該当建築物はありませんでした。 後工区については、アスベスト含有建築材を使用した建築物があったため、解体時に確実な飛散防止措置を行いました。
水質汚濁・土壌汚染・地盤沈下			
29	濁水や土砂の流出防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
30	塗料などの適正管理及び処分	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は適正に処分しました。
31	土壌汚染物質の拡散防止措置	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	土地の利用履歴を調査し、過去に焼却炉の存在が確認されたため、ダイオキシン類の土壌汚染状況調査を行ったところ、汚染がないことを確認しました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の際は、六価クロム溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工しました。
33	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。
悪臭・廃棄物			
34	アスファルト溶解時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	アスファルトを溶解させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気対策を行いました。
35	現地焼却の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現地では廃棄物等の焼却は行いませんでした。
36	解体時の環境汚染対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	解体を伴う工事の際は、保管されているPCB使用機器、空調機器などに使用されているフロン類などやその有害廃棄物の状況を工事実施前に調査し、環境汚染とならないよう適正な処理を行いました。
37	仮設トイレ設置時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレを設置した際は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を行いました。
地域の安全安心に貢献します。			
38	地域との連携における事故の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故防止に努めました。
39	児童などへの交通安全の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
40	夜間や休日の防犯対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夜間・休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じました。
41	児童などへの見守り、声かけ	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	関係者から登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどの要請はなかったため、実施しませんでした。
42	地域の防犯活動への参加	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	関係者から地域の防犯活動への参加要請はなかったため、実施しませんでした。
環境に配慮した製品及び工法を採用します。			
省エネルギー			
43	エネルギー消費の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギー効率のよい機器の導入などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制しました。
省資源			
44	残土発生の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制しました。
45	廃棄物の減量	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。
快適な環境づくりに貢献します。			
景観			
46	仮囲い設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮しました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
47	仮設トイレ設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所を工夫しました。
周辺環境美化			
48	周辺道路の清掃	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行いました。
49	場内整理	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。
ヒートアイランド現象の緩和			
50	打ち水	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夏期において水道水を用いて、周辺道路などに打ち水を行いました。
地域との調和を図ります。			
工事説明・苦情対応			
51	工事内容の事前説明及び周知	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施中も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにしました。
52	苦情対応	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応しました。
周辺の教育・医療・福祉施設への配慮			
53	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	竹見台中学校に対して、工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明するとともに、施設での行事や利用状況に配慮した工事計画にしました。
54	騒音、振動などの配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	竹見台中学校に対して騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をしました。
周辺の事業者との調整			
55	複合的な環境影響の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施工者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めました。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温暖化対策を行います。			
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度の活用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果を得られるよう努めるとともに、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物に表示しました。その結果、CASBEE A(後工区)、B+(先工区)を取得しました。
57	高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	住宅専用部、共用部・廊下には、発熱量及び消費電力が少ないLED照明を2598台設置。共用部の夜間照明はタイマー等による点灯制御を行っています。また手元止水付シャワー水栓、潜熱回収型ガス給湯機(熱効率95%以上)、エネルギーリモコンを採用、台所水栓には水優先吐水機構及び便器には節水Ⅱ型便器(6L)をそれぞれ433台設置しました。
58	再生可能エネルギーの活用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	当事業は、耐震上の課題を抱えた一部住棟のみ建替え早期の耐震化・居住者の居住の安定が主目的であり、設備投資や維持管理による家賃等への影響を少しでも軽減するため、実施しませんでした。
59	エネルギー効率の高いシステム及び機器導入の検討	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギー効率が良く熱負荷の少ない潜熱回収型ガス給湯機(熱効率95%以上)433台を採用しました。
60	冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	空調設備の導入はありませんでした。
61	建築物のエネルギー負荷の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	バルコニー面にあるサッシにはペアガラスを採用し断熱性能を向上させることで、建築物のエネルギー負荷を抑制しました。
62	長寿命な建築物の施工	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	耐久・耐火・耐震性に優れた鉄筋コンクリート造を採用し、建築物の長寿命化を図りました。
63	環境に配慮した製品の採用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	資源循環や環境保全に配慮した製品としてグリーン購入法の特定制選商品の発酵下水汚泥コンポストを採用しました。
64	製造に要するエネルギーが少ない建設資材の採用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	予算上の問題で灰溶融スラグ入りインターロッキングブロックの採用には至りませんでした。高炉セメント等、製造に要するエネルギーが少ない建設資材等を採用しました。
ヒートアイランド対策を行います。			
65	ヒートアイランド対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	可能な限り屋外では芝・地被類を配し、地表面を覆う事でヒートアイランド対策を行いました。(4,339.64㎡=先:2,476.50㎡、後:1863.14㎡)
自然環境を保全し、みどりを確保します。			
66	動植物の生息や生育への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	過去の周辺状況調査を参考に、可能な限り既存植栽を残す計画とし動植物の生息や生育に配慮しました。
67	地域のシンボルツリーの保全	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	地域のシンボルとなっていた樹木で保存可能な樹木は保存し、既存の植生や地形を極力活かした計画としました。
68	既存の植生の保全	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現況樹木と当該事業計画との整合を図り、可能な限り既存植栽を残す計画としました。
69	生物の生息空間の保全	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	既存樹木を極力保存し、既存団地にある緑地などと連続することで生物の生息空間の保全に努めました。
70	駐車場緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	平面駐車場は除草や散水等の維持管理の徹底が困難なことから、駐車場緑化は実施しませんでした。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
71	屋上緑化など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	当事業は、耐震上の課題を抱えた一部住棟のみ建替え早期の耐震化・居住者の居住の安定が主目的であり、屋上緑化に伴う設備投資や維持管理による家賃等への影響を少しでも軽減するため、実施ませんでした。
72	法面緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	開発による法面は生じませんでした。
73	植栽樹種の選定	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	植栽樹種は可能な限り地域特性に応じた在来種の植物を選定しました。
水循環を確保します。			
74	水資源の有効利用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	水質の維持管理が困難なことから実施ませんでした。
75	雨水流出を抑制する施設の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	事業区域の面積に応じて、雨水流出抑制するために雨水貯留槽 先工区：0.5t、後工区：0.3tを設置しました。
76	雨水浸透への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	雨水浸透に配慮し浸透性のある舗装の採用をしました。 歩行者用通路(170.3㎡) 団地内道路及び駐車場(447㎡)
地域の生活環境を保全します。			
大気・騒音・振動等			
77	騒音を発生させる設備設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	電気室やポンプ室など騒音を発生させる設備設置においては、設置場所の配慮や壁の遮音性を確保するなど騒音・振動対策に努めました。
78	防音サッシの設置	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	幹線道路に近接していないことから防音サッシの採用はありませんでした。
79	駐車場の配置計画時の配慮	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	駐車場配置は、排気ガス・騒音防止の観点から可能な限り周辺住宅に配慮した計画としました。
80	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣への臭気及び騒音の影響を抑制するため、窓・通気口・換気口及びゴミ置場の配置等に配慮しました。
81	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	該当する機器はありませんでした。
82	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	屋外照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制するため、配置等に配慮しました。
83	建築資材による光の影響の考慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	窓ガラスなどによる太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮しました。
84	環境に配慮した塗料の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。
85	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	竹見台中学校に対し、騒音、振動に特に配慮しました。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)		
86 日照障害対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域(商業と工業地域を除く)を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明しました。また、できる限り軽減を図りました。
87 電波障害の事前把握及び近隣説明	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	電波障害の発生が予想される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。
88 電波障害発生時の改善対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	電波障害は生じませんでした。
89 プライバシーの配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	近隣住民のプライバシーを侵害するおそれはありませんでした。
景観まちづくりに貢献します。		
90 地域への調和	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう色彩や形状に配慮しました。
91 景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づき、色彩など配置した計画と設計を行いました。
92 景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成に関わるガイドラインや方針を有するエリアではガイドラインなどに配慮した計画と設計を行いました。
93 景観形成地区指定の協議	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	計画区域や建設敷地がおおむね1haを超えるため、景観形成地区の指定について協議を行いました。景観形成地区の指定になりませんでした。
94 景観形成基準の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
95 屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
安心安全のまちづくりに貢献します。		
96 歩行者が安全に通行できる空間整備	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺状況に応じ、計画地内において歩車分離を行い歩行者が安全に通行できる空間整備に努めました。
97 災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮した整備	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	既に計画地に隣接する既存団地内には防災倉庫があり、団地全体で使用しますので、改めて計画地内には設けませんでした。但し、災害時等には屋外空間は避難場所等には活用できる空間としました。
98 防犯対策のための安心安全に配慮した整備	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	オートロックシステムを採用し、セキュリティエリアを明確に区分しました。また、エレベータかご内、メールコーナーの死角となる部位に防犯カメラを設置しました。